



# 2017/7/

東京 2日 大阪 5日 京都 6日 広島 9日

THE 50TH YEAR AFTER THE OCCUPATION 1967

# パレスチナ

占領50年企画  
国際シンポジウム

【東京会場】

2017年7月2日(日)

**13:00~17:00** 12:30 開場

東京大学本郷キャンパス 福武ラーニングシアター

【講演者】 **アヴィ・シュライム**  
**ハリール・ナハレ**

【京都会場】

2017年7月6日(木)

**18:30~21:00** 18:15 開場

京都大学吉田南キャンパス、総合館  
南棟地下 共南01教室

【講演者】 **アヴィ・シュライム**

【大阪会場】

2017年7月5日(水)

**18:30~21:20** 18:15 開場

大阪ドーンセンター4階 大会議室1

【講演者】 **ハリール・ナハレ**

【広島会場】

2017年7月9日(日)

**14:00~17:00** 13:30 開場

「ひと・まちプラザ」マルチメディアスタジオ

【講演者】 **アヴィ・シュライム**  
【講演者】 **ハリール・ナハレ**

[講師略歴]

**アヴィ・シュライム 氏**

アラブ・イスラエル紛争を専門とする国際関係学者で、イスラエル建国論争をめぐる「新しい歴史家」のひとり。オックスフォード大学名誉教授、Fellow of the British Academy (FBA)。著書に『鉄の壁 イスラエルとアラブ世界』（緑風出版、2013年）など。

**ハリール・ナハレ 氏**

パレスチナへの国際援助や経済開発の専門家として、国連機関やパレスチナ教育省、パレスチナの NGO などでコンサルタントを務める。占領下のパレスチナ社会と経済が抱える問題についての啓発的な論客。著書に『グローバル化したパレスチナ』（2012年）など。

[東京会場]

2017年7月2日(日) 13:00~17:00 12:30 開場

東京大学本郷キャンパス 福武ラーニングシアター  
東京都文京区本郷 7-3-1

[講演者] **アヴィ・シュライム**  
**ハリール・ナハレ**

[主催] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中東イスラーム研究拠点  
(人間文化研究機構「現代中東地域研究」事業)

[事前登録制] aa\_nihu\_event@tufs.ac.jp (当日受付あり)

※ ご参加希望者は、通訳レシーバーが必要か事前にご連絡願います。

[大阪会場]

2017年7月5日(水) 18:30~21:20 18:15 開場

大阪ドーンセンター 4階 大会議室1  
大阪市中央区大手前 1-3-49

[講演者] **ハリール・ナハレ**

[主催] パレスチナの平和を考える会

[共催] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中東イスラーム研究拠点  
(人間文化研究機構「現代中東地域研究」事業)  
関西パレスチナ研究会

[京都会場]

2017年7月6日(木) 18:30~21:00 18:15 開場

京都大学吉田南キャンパス、総合館  
南棟地下 共南01教室

[講演者] **アヴィ・シュライム**

[主催] 京都大学大学院 人間・環境学研究所 岡真理研究室

[共催] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中東イスラーム研究拠点  
(人間文化研究機構「現代中東地域研究」事業)

[広島会場]

2017年7月9日(日) 14:00~17:00 13:30 開場

「ひと・まちプラザ」マルチメディアスタジオ  
広島市中区袋町 6-36

[講演者] **アヴィ・シュライム**  
**ハリール・ナハレ**

[主催] 広島・中東ネットワーク

[共催] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中東イスラーム研究拠点  
科研費基盤 B 「中東・ヨーロッパ諸国間の国際政策協調と移民/  
難民の移動に関する研究」  
(研究代表者：錦田愛子、課題番号 17H04504)

一九六七年に起きた第三次中東戦争から、今年には五〇年目を迎える。エルサレム占領や、イスラエル国内での宗教右派の台頭、ヨルダン川西岸地区とガザ地区の占領経済への統合など、この戦争は現在のイスラエル・パレスチナ状況にも大きな影響をもたらした。  
AA研中東イスラーム研究拠点では、この転機をあらためて考える機会として、オックスフォード大学名誉教授アヴィ・シュライム氏と、パレスチナの経済開発専門家ハリール・ナハレ氏を講演者に迎え、議論を深めていく。

# パレスチナ

占領50年企画  
国際シンポジウム